

2022年3月期決算説明資料

(2021年4月1日～2022年3月31日)



人・街・未来をまもる

東洋テック株式会社

証券コード9686



本 社

大阪市浪速区桜川一丁目7番18号

設 立

1966年1月5日

資本金

46億18百万円

事業内容

警備事業…機械警備業務、輸送警備業務、常駐警備業務、ATM管理業務、
工事・機器販売、ホームセキュリティ

ビル管理事業…ビル総合管理、清掃業務

不動産事業…不動産賃貸業務、不動産仲介業務、不動産販売業務

株 式

東京証券取引所スタンダード市場上場 コード番号(9686)

売上高

274億円(2022年3月連結実績)

従業員数

1,619名(連結)他、臨時従業員数1,926名(2022年3月時点)

グループ会社

(株)東警サービス、東洋テック姫路(株)、東洋テックビルサービス(株)、
(株)大阪フジサービス、テック不動産(株)、(株)新栄ビルサービス

主要提携会社

(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ、関西電力(株)

1966年1月

東洋警備保障(株)(現 東洋テック(株))を設立
福德相互銀行を設立母体とし、創業に賛同出資した企業の多くも金融系

1967年2月

機械警備業務を開始

1968年2月

輸送警備業務を開始

1980年5月

金融機関のキャッシュサービスコーナーの自動運行管理業務を開始

1982年9月

CD総合管理を行うATM管理業務を開始

1988年4月

東洋警備保障(株)から東洋テック(株)に社名を変更

1990年12月

大阪証券取引所市場二部に上場

2001年9月

関西電力(株)、日本パナユーズ(株)とホームセキュリティ共同会社
「(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」(関電SOS)設立

2002年6月

関電SOSのホームセキュリティサービスを開始

2013年7月

東京証券取引所市場第二部に移行

2022年4月

東京証券取引所スタンダード市場に移行
グループ会社 東洋テックビルサービス(株)設立

業務の概要

「安心・安全」のための幅広いサービスを展開。



東洋テック
東警サービス
東洋テック姫路



東洋テックビルサービス
大阪フジサービス
新栄ビルサービス



テック不動産

目 次

1. 2022年3月期 決算概要 ----- P 6
2. 2023年3月期 業績予想 ----- P 15
3. 株式の状況及び配当金と株価の推移 ----- P 17
4. 当社の経営計画について ----- P 20
5. 当社トピックス ----- P 25



2022年3月期 決算の概要



2022年3月期の概要

- ◆ 新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令・解除が繰り返され、終息が見通せない不透明な状況でしたが、東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催される等、明るい話題もありました。
- ◆ 前年度に比べコロナ影響は限定的で、ワクチン接種会場の警備や消毒清掃・オリンピック警備にも取り組み、増収増益。
- ◆ 公表数値に対し、経常利益は僅かに届かなかったものの、売上高並びに営業利益は計画を達成。連結ベースで11期連続の増収。
- ◆ 元社員による架空取引にかかる詐欺事件により使用者責任の有無を争った3件の裁判の内、2件について誠に遺憾ながら14億3千万円の和解金を支払い終結。特別損失に計上し、有価証券売却による特別利益で賄いました。

(単位：百万円/%)

	2021/3 実績	2022/3 実績	前年度比	前年度比 (増減率)	2022/3 公表数値	公表対比
売上高	26,000	27,465	1,464	5.6	27,000	101.7%
営業利益	697	848	151	21.8	800	106.1%
経常利益	848	895	47	5.6	900	99.5%
親会社に帰属する 当期純利益	560	459	△101	△18.1	540	85.1%
1株当たり当期 純利益(円・銭)	53.67	43.61	△10.05	△18.7	51.66	—

セグメント別売上高及びセグメント利益の概要

警 備 事 業	新規先獲得やコロナワクチン接種会場警備・オリンピック警備で常駐警備が好調。機械警備も4期ぶりに増収に転じました。前年度苦戦した工事機器販売も復調し増収。一方で、収益性の高い金融機関のATM管理業務が減少したこと等によりセグメント利益は微減。
ビル管理事業	前年度に比べコロナ影響は限定的。新規受注や大規模修繕工事の受注、コロナワクチン接種会場の消毒清掃等もあり、全般的に好調に推移、増収増益。ビル管理事業の更なる強化を目指し、4月1日付で東洋テックビルサービス(株)が発足。
不動産事業	銀座物件の販売4億20百万円を計上。8月に新規取得した長岡京の収益物件を含め、不動産賃貸も引き続き堅調に推移し、増収増益。

(単位：百万円)

区分	2021/3 実績			2022/3 実績			前年同期比		
	外部顧客への売上	構成比	セグメント利益	外部顧客への売上	構成比	セグメント利益	外部顧客への売上	増減率	セグメント利益
警 備 事 業	17,201	66.2%	224	17,714	64.5%	210	512	3.0%	△13
ビル管理事業	8,301	31.9%	235	8,968	32.7%	311	666	8.0%	76
不動産事業	497	1.9%	179	782	2.9%	259	285	57.2%	80
調 整 額	—	—%	58	—	—%	67	—	—%	9
合 計	26,000	100.0%	697	27,465	100.0%	848	1,464	5.6%	151

単体及び子会社各社の業績

東洋テック

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	2021/3	2022/3	2021/3	2022/3	2021/3	2022/3	2021/3	2022/3
東洋テック	16,743	17,304	151	188	476	530	387	272
東警サービス	1,532	1,552	99	53	107	60	69	39
東洋テック姫路	1,162	1,105	142	113	144	114	89	72
テックビルサービス	4,765	5,218	137	150	141	151	89	85
大阪フジサービス	1,188	1,278	56	71	75	79	49	91
共同総合サービス	1,049	1,136	37	62	39	66	25	42
テック不動産	179	442	△7	66	△4	67	△3	43
森田ビル管理	935	948	6	44	10	47	8	40
新栄ビルサービス	1,100	1,155	33	28	37	31	24	21
9 社 合 計	28,657	30,141	658	778	1,028	1,149	739	710
明 成	180	260	△7	△7	25	△3	18	△0
1 0 社 合 計	28,838	30,402	650	771	1,054	1,146	757	709
連 結 業 績	26,000	27,465	697	848	848	895	560	459

連結損益計算書の状況

(単位：百万円)

		2021/3	2022/3	前年度比
売上高	機 械 警 備	7,207	7,316	109
	輸 送 警 備	2,016	2,023	7
	常 駐 警 備	3,096	3,392	296
	A T M 管 理	1,631	1,616	△14
	工 事 ・ 機 器 販 売	1,148	1,326	178
	そ の 他	2,102	2,038	△63
	ビ ル 管 理	8,301	8,968	666
	不 動 産	497	782	285
総 売 上 高		26,000	27,465	1,464
売 上 原 価		20,673	22,062	1,388
売 上 総 利 益		5,327	5,403	76
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,629	4,554	△75
営 業 利 益		697	848	151
経 常 利 益		848	895	47
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		942	787	△155
親 会 社 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		560	459	△101

営業費用・原価費用の状況

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	前年度比	
	金額	金額	金額	増減率
人件費	12,273	12,528	255	2.1
物件費	3,352	3,377	24	0.7
減価償却費	819	901	82	10.0
のれん償却費	93	89	△4	△4.4
賃貸用不動産償却費	70	76	5	7.9
不動産事業費用	61	70	8	13.8
外注費	7,521	8,259	737	9.8
機器保守外注費	82	106	24	29.3
貸倒引当金繰入	△1	0	1	-
営業費用合計	24,274	25,410	1,135	4.7
工事発注費	222	11	△210	△94.7
機器仕入代	700	900	199	28.5
不動産売上原価	106	294	187	177.1
工事機器費用計	1,029	1,206	177	17.2
販管・原価費用合計	25,303	26,616	1,312	5.2

(ご参考) 営業外損益・特別損益の状況

(単位：百万円)

営業外損益		2021/3	2022/3	前年度増減
営業外	受取利息	0	0	0
	受取配当金	103	117	14
	その他	108	66	△42
	営業外収益計	212	184	△28
営業外	支払利息	40	42	2
	社債利息	-	1	1
	社債発行費	-	30	30
	その他	20	63	42
営業外費用計	61	137	76	
特別損益		2021/3	2022/3	前年度増減
特別	投資有価証券売却益	138	1,504	1,365
	その他	-	2	2
特別利益計	138	1,506	1,368	
特別	固定資産除却損	43	58	15
	和解金	-	1,430	1,430
	その他	0	126	125
特別損失計	44	1,615	1,570	

連結貸借対照表の状況

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	前年度比	増減要因 (主な内訳)	
資産 の 部	流動資産	14,231	14,074	△157	
	現金及び預金	5,984	6,086	102	
	受託現預金	5,271	4,642	△628	
	売掛債権	2,251	2,426	175	
	固定資産	17,901	15,804	△2,096	
	有形固定資産合計	10,726	11,469	743	建物+161、機械及び装置+271、 土地+351
	無形固定資産合計	822	703	△119	のれん△89M、ソフトウェア△29M
	投資その他の資産合計	6,352	3,631	△2,720	投資有価証券△2,708
	資産合計	32,133	29,879	△2,253	
負債 の 部	流動負債	7,050	4,814	△2,236	
	短期借入金	565	275	△290	
	1年以内返済長期借入	2,227	226	△2,001	長期へ△1,000・社債へ△1,000
	固定負債	3,333	4,618	1,285	
	社債	-	1,000	1,000	長期借換
	長期借入金	1,805	2,520	714	借換
	繰延税金負債	795	177	△618	
	負債合計	10,383	9,432	△950	
自己株式	△809	△730	79		
純資産合計	21,749	20,446	△1,302		
負債純資産合計	32,133	29,879	△2,253		

(単位：百万円)

項目		2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
総資産額	百万円	30,868	29,881	32,133	29,879
純資産額	百万円	20,811	20,845	21,749	20,446
自己資本比率	%	67.4	69.8	67.7	68.4
EPS(1株当たり利益)		66円83銭	82円57銭	53円67銭	43円61銭
PER(株価収益率)	倍	17.18	11.40	18.97	22.42
1株当たり配当金(年間表示)		28円00銭	30円00銭	30円00銭	30円00銭
PBR(株価純資産倍率)	倍	0.58	0.47	0.49	0.51
BPS(1株当たり純資産)		1,984円83銭	2,003円78銭	2,075円38銭	1,935円00銭
ROE(株主資本利益率)	%	3.39	4.13	2.58	2.25
ROA(総資産純利益率)	%	2.29	2.88	1.75	1.54
配当利回り	%	2.44	3.19	2.95	3.07
配当性向	%	41.9	36.3	55.9	68.8

2023年3月期 業績予想



2023年3月期 業績予想

東洋テック

(単位、百万円、%)

	2021/3 実績	2022/3 実績	前年度比	公表値	達成率	2023/3 公表	2022/3 実績比
売上高	26,000	27,465	1,464	27,000	98%	30,000	2,534
営業利益	697	848	151	800	94.34%	900	51
経常利益	848	895	47	900	100.56%	900	4
親会社に帰属 する純利益	560	459	△101	540	117.65%	540	80
1株当たり 純利益	53円67銭	43円61銭	△10円05銭	—	—	—	—
配当金	30円00銭	30円00銭	0円00銭	30円00銭	100.00%	30円00銭	0円00銭
配当性向	55.90%	68.80%	12.90%	—	—	—	—

株式の状況及び配当金と株価の推移



大株主上位10社（自己株式785,816株除く）

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	セコム株式会社	2,914,100 株	27.4 %
2	関西電力株式会社	1,535,900 株	14.4 %
3	株式会社ディー・ケイ	455,000 株	4.3 %
4	株式会社日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・株式会社 関西みらい銀行退職給付信託口)	451,090 株	4.2 %
5	株式会社りそな銀行	400,000 株	3.8 %
6	東洋テック従業員持株会	336,035 株	3.2 %
7	A I G 損害保険株式会社	335,210 株	3.1 %
8	株式会社ユニテックス	263,000 株	2.5 %
9	セントラル警備保障株式会社	241,700 株	2.3 %
10	株式会社三井住友銀行	204,980 株	1.9 %
合 計		7,137,015 株	67 %

株式数	
発行する株式数	20,800,000 株
発行済株式数	11,440,000 株
自己株式数	785,816 株
一単元の株式数	100 株

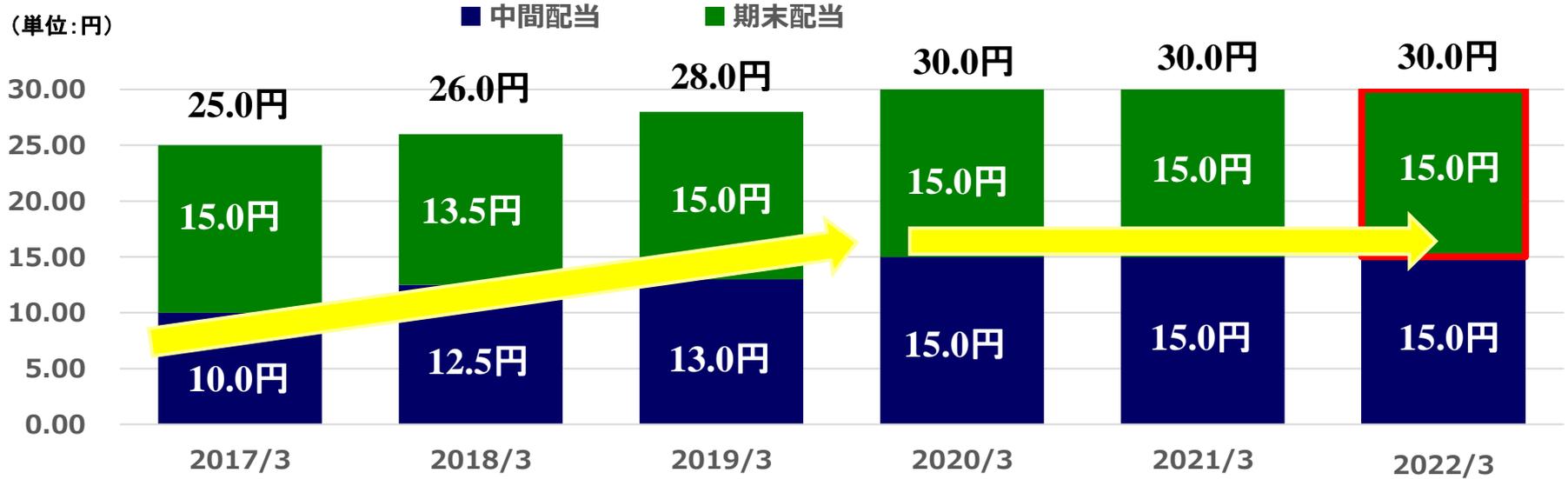
株主数	
株主数	1,500 名
単元株主数	1,289 名

株主数増減（対前年度末比）	
株主数	+63 名
単元株主数	+11 名

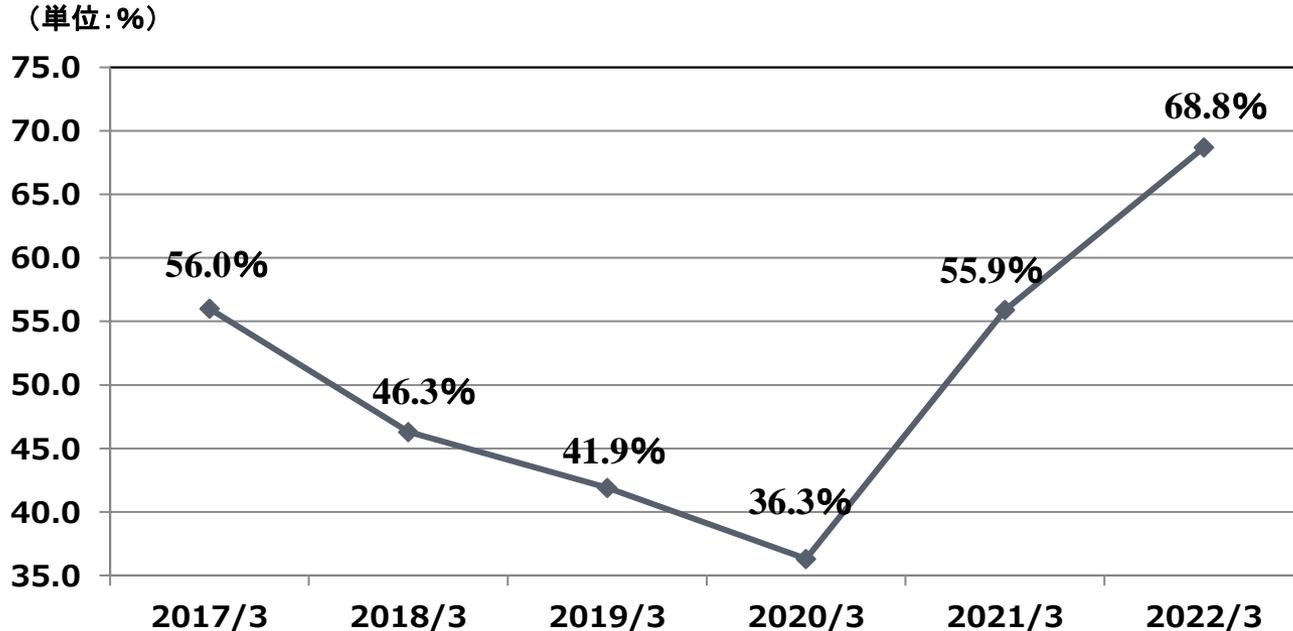
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・株式会社関西みらい銀行退職給付信託口)
⇒ 株式会社関西みらい銀行が、保有当社株式を、退職給付信託に信託

(注) 持株比率は、自己株式（785,816株）を控除して計算しています。
また、小数点2位を四捨五入して表示しています。

配当金の推移



配当性向の推移



配当方針

安定配当に加え、
業績に連動した配当を
目指します。



当社の経営計画について



中期経営計画 当初目標 2022年3月期

売上高 300億円
(後に270億円に下方修正)
 経常利益 17億円
(後に9億円に下方修正)
 戦略投資額 90億円
 配当方針 還元の拡充

中期経営計画 2022年3月期実績 (連結)

売上高 274億円
 経常利益 8.9億円
 戦略投資額 31億円
 配当(年間) 30.00円

当初計画比

▲ 26 億円
 ▲ 8.1 億円
 ▲ 59 億円

成 果

- ✓ 東大阪センター稼働に伴う輸送/ATM管理事業のローコスト化、業務受託能力拡充
- ✓ ビル管理事業拡大 = "売上100億円体制"を確立
- ✓ 子会社各社は総じて増収増益トレンドを確立
- ✓ DX推進体制の整備(DX本部設置)

課 題

- ✓ 収益力低下
- ✓ コロナ禍で『第三の柱』開拓は進展せず (本格交渉再開は2024年度以降)
- ✓ 戦略投資未消化▲60億円弱(警備事業M&Aなし)

2030ビジョン

2030年に想定される環境下において求められる安心・快適を永続的に提供できる企業

想定される社会

予測されるニーズ

東洋テックグループとしてなすべき事

人口減少	生産人口(労働者人口)減少
超高齢化	核家族化
働き方改革	人口の1/3が高齢者
デジタル化	テレワーク拡大
自然災害の甚大化	キャッシュレス化
国家財政悪化(社会保障巨額化)	サステナビリティ(人権・環境問題等)への取組みによる企業選別
	家計逼迫(コスト負担は政府・企業から家計に転嫁)
	生活不安(老後・教育等)

人依存⇒AI・IoT等を活用したハイブリッド警備
高齢者・単身者・ペット等見守りニーズ拡大
高齢者ビジネス成長
24時間365日体制の委託ニーズ拡大
情報管理強化ニーズ拡大(サイバーセキュリティ)
安定への希求(雇用・生活・会社)

顧客	単純労働から付加価値提供 (AI活用・コンサル・サイバーセキュリティ・PM業務)
	身近・手軽・便利な警備サービス普及 (簡易・安価・・・富裕層⇒一般家庭へ)
	高齢者ビジネスへの進出
	24時間365日体制のサービス提供 (手待時間の活用・ビル管理の夜間体制)
株主	サステナビリティの業界トップランナー ・顧客サイドからの選別 ・投資対象としての満足度 ・会社に対する誇り・働きがい
	従業員
従業員	業界上位水準の処遇実現

2022～2024

2025～2027

2028～2030

第一フェーズ

第二フェーズ

第三フェーズ

目指す姿

社会的要請に応え、成長・発展し続ける企業グループ

期間

2022年4月～2025年3月

スローガン

構造改革への挑戦

■ 環境変化をふまえた事業構造改革への挑戦

- ・警備事業内ポートフォリオの革新
- ・ビル管理事業ウエイトの拡大 ⇒ 収益構造の改革

■ サステナビリティ経営の徹底

経済的価値

【財務・配当[最終年度(2024年度)]】

連結売上	350 億円
営業利益	17.5 億円(営業利益率5.0%)
経常利益	19.0 億円(経常利益率5.5%)
戦略投資	期間累計 70 億円(M&A・不動産)
配当方針	配当性向50%を目途に安定配当

社会的価値

【サステナビリティ経営の徹底】

- ・サステナビリティ活動の基本方針・マテリアリティに基づく取組みを推進
- ・SDGs取組を進化させ脱炭素経営に取組み
- ・2030年度温室効果ガス排出量=2013年度比▲50%

成長戦略

【警備事業】

- ・強固な事業基盤の確立
- ・事業遂行を通じた顧客満足度の向上
- ・デジタル化によるチャネル拡大

【ビル管理事業】

- ・総合ビル管理元請け受託力の増強
- ・業務革新による収益向上

【不動産事業】

- ・資産の有効活用による収益増強
- ・不動産事業体制整備による機能強化

第12次中期経営計画について（サステナビリティ） **東洋テック**

マテリアリティ	アプローチ	KPI(2024年度)	SDGsテーマ
1.地球環境への配慮	①紙削減 CO2排出量削減 ③社用車のエコ車両化、電気自動車化	①紙使用量を50%削減(2019年度比) ②ガソリン・電気使用量に伴うCO2排出量を50%削減(2013年度比) ③現金輸送車の全台のうち35%を小型化へ ・営業車両の電気自動車化を推進	   
2.人材マネジメント	①健康経営の実施 ②働き方改革 パーシティブ ④人財育成	③ダイ ①健康経営優良法人を取得 ②有給取得率 70% ③女性警備員数250名体制の確立 ・管理職の女性比率 10% ・外国人技能実習生及び特定技能者 30名受入 ・高齢者再雇用の推進 ④社内競技大会(S1グランプリ)の継続実施 ・専門資格保有者の増強	     
3.社会環境に適合したサービス提供	顧客満足度の高い高品質なサービスを提供	・見守りサービスのラインナップ充実 ・コンパクトセキュリティ導入 ・画像解析によるクオリティの高い警備サービスの提供	   
4.自然災害等への危機管理	①BCP体制の充実 ②地域社会への災害対策推進活動	①拠点体制・システム体制の整備 ・災害対策訓練／避難訓練／システム障害等の継続実施 ②地域主催の災害訓練に参加 ・防災関連商品の提案・推進活動等	 
5.コンプライアンス	①コンプライアンス意識の醸成 ②コーポレートガバナンス強化	①コンプライアンス研修の実施 ・テックアカデミー活用による社会人教育の実施 ②取締役会の実効性向上 ・リスクマネジメント委員会	  
6.地域・社会貢献	①地公体・行政機関との連携 ②文化・スポーツチーム振興による地域の活性化	①教育実習の受入れ ・出前セミナーの実施 ②スポーツチームのスポンサー契約 ・地域イベントへの参加・協賛	  

当社トピックス



東洋テックグループS1(スキルNo.1)グランプリ

開催日	2022年4月23日（土）
開催場所	グランキューブ大阪
対象者	東洋テックグループ従業員、協力会社従業員（一部）計116名
概要	機械警備、常駐警備、監視センター、コールセンター、貴重品運搬、営業、ビル設備、日常/定期清掃、技術の計10部門で競技が行われました。 2020年、2021年はコロナウイルス感染拡大に伴い中止された為、3年ぶりの開催となりました。

第7回目となる競技大会

10部門で業務スキル
ナンバー1を決めます！



池田大会委員長による挨拶



計116名が参加しました



選手宣誓

S1グランプリ競技内容（一部）

機械警備



侵入警報対応

盗難警報時及び不審者と遭遇時に的確な対応ができるか競う

常駐警備



出入管理対応

イベント会場での出入管理及び発熱者への的確な対応ができるかを競う

ビル設備



火災受信盤発報時、現地での異常調査及び感知器の取替工事を適切に対応できるか競う

監視センター



- ・電話対応
- ・即時通報
- ・パトロールへの的確な指示及び画像確認時の処置を正確かつ速やかに実行できるか競う

貴重品運搬警備



現金輸送車両への襲撃事件対応。警戒態勢、安全確保が迅速・的確にできるか競う

日常清掃



事務室のごみ処理及び清掃作業
清掃技術を競う

飛鳥ハーフマラソン会場警備



3月12日（土）13日（日）
飛鳥ハーフマラソンにて
交通誘導・雑踏警備を完遂

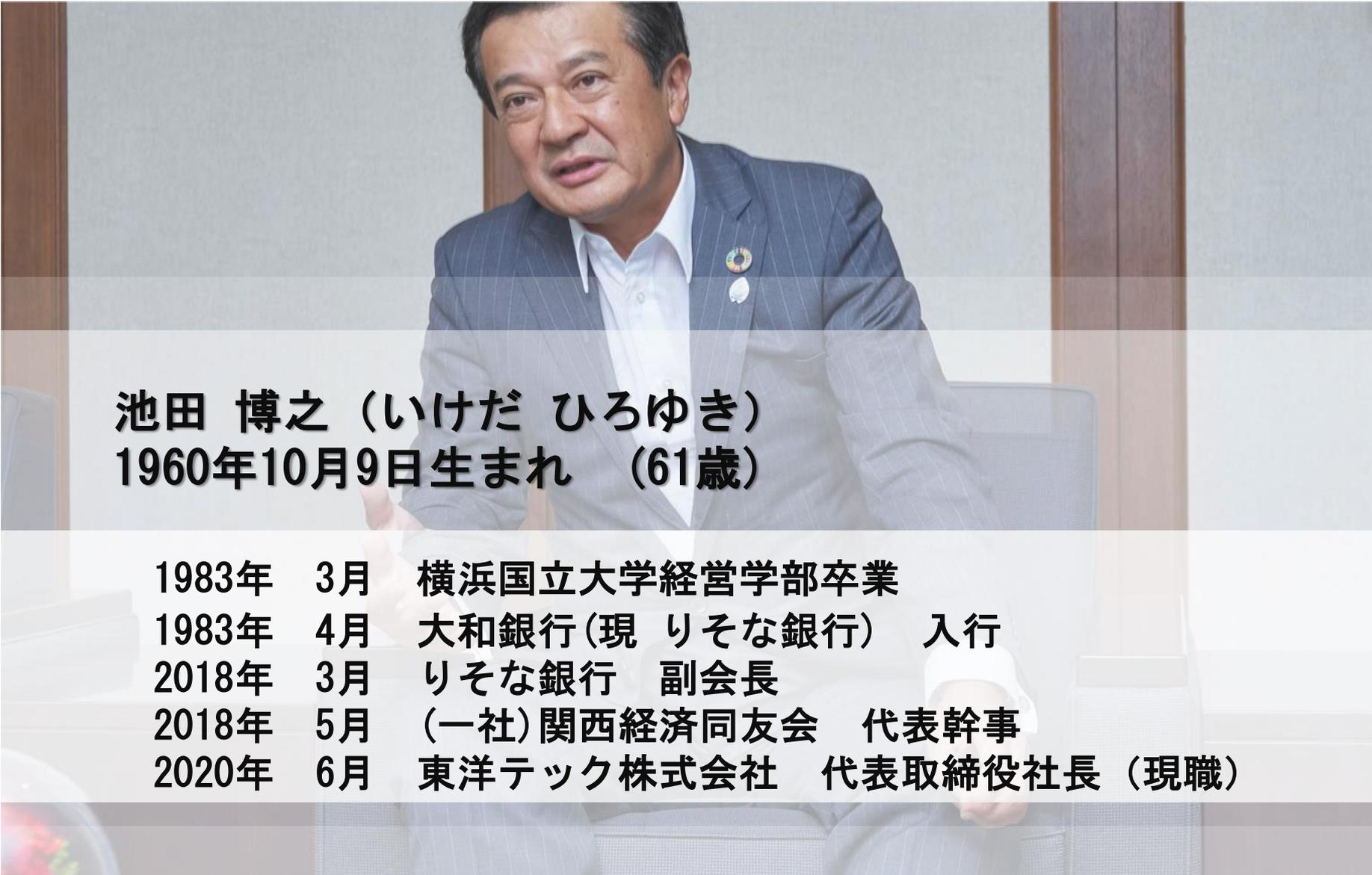
ワクチン接種会場警備



大阪府内の一部ワクチン接種会場にて
常駐警備、清掃、消毒業務を実施

グループシナジーを発揮しながら
変化する社会的要請に素早く応えられるよう
日々取り組んで参ります



A portrait of Hiroki Ikeda, a middle-aged man with dark hair, wearing a blue pinstriped suit jacket over a white shirt. He is seated and looking slightly to the left of the camera. The background is a plain, light-colored wall with a wooden door frame visible on the right.

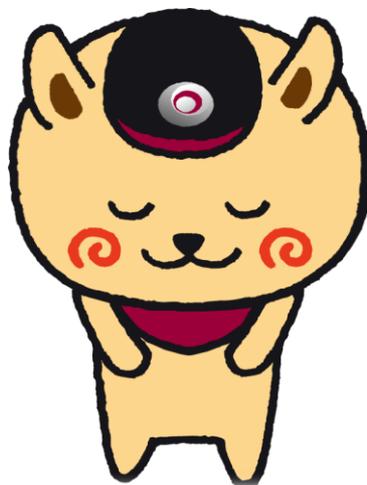
池田 博之（いけだ ひろゆき）
1960年10月9日生まれ（61歳）

1983年	3月	横浜国立大学経営学部卒業
1983年	4月	大和銀行(現 りそな銀行) 入行
2018年	3月	りそな銀行 副会長
2018年	5月	(一社)関西経済同友会 代表幹事
2020年	6月	東洋テック株式会社 代表取締役社長（現職）

記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。



人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社